

(参考様式2)

令和元年 10月17日

出張報告書

津山市議会議員 三浦 ひらく

出張期間	令和元年 8月 7日 ~ 令和元年 8月 9日
出張先	JIAM (全国市町村国際文化研修所) 滋賀県大津市唐崎 2-13-1
出張内容	令和元年度市町村議会議員研修「1年目の議員のために」への参加
応対者	JIAM 施設関係者、講師の先生方
概 要 所 感	<p>20代から70代まで、非常に幅広い年齢層の参加者が120人。全国各地から集った面々は当選一回目という共通点だけで、自治体の規模もそれぞれの属性も非常に様々なメンバーで、大変刺激的な時間であった。</p> <p>地域外で志を同じくする仲間を見つけることで、地域課題解決に効果的に外部の知見を取り入れる助けとなることも期待して参加したが、果たして今このタイミングで新たに議員を志した人たちは非常に前向きでありながらも強い危機感を抱いている方々で、今後役に立つ繋がりが見込めたと確信している。</p> <p>議会で何が話し合われているのか伝わってこない、政治に職務として携わっている人間と市民との感覚の乖離を問題だと感じ、議会へと飛び込んだ近い世代の新しいネットワークを構築することもでき、インターネットを介してそれぞれの現状報告や情報交換を日常的に続けていき、課題解決に向けて自身の考えをブラッシュアップできる下地が整えられた。</p> <p>全ての参加者からやる気を感じられたわけではないが、講義・演習ともに非常に興味深く、事例に基づきわかりやすく説明してくださったおかげで、政治はあくまでも法に則って進めねばならないという現実を改めて認識し、地に足を付けることができた。</p>

(参考様式2)

令和元年 10月17日

出張報告書

津山市議会議員 三浦 ひらく

出張期間	令和元年 8月 21日 ~ 令和元年 8月 23日
出張先	JIAM (全国市町村国際文化研修所) 滋賀県大津市唐崎 2-13-1
出張内容	令和元年度市町村議会議員研修「地方議員のための政策法務～政策実現のための条例提案に向けて～」への参加
応対者	JIAM 施設関係者、講師の先生方
概 要 所 感	<p>前回初めて参加した JIAM の研修…非常に好印象だったので期待値が高まる中で参加した二回目も、期待以上の内容だった。</p> <p>参加者は 60 名定員のところ 38 名。</p> <p>人数が少なかった分、講師や参加者との距離感が縮まり、前回よりもさらに深い交流を持つことができた。</p> <p>またお話をさせていただいた議員の中には最も経験が長い方で 9 期目を務めている方などもおられ、講義時間帯以外でも様々な実務的な話を伺うことができたのは収穫となった。</p> <p>津山市でも今後進めていきたいと考えていた住民参加・活動推進条例を他自治体所属の年齢を重ねた議員数人と、仮想自治体を想定した上で、それぞれの自治体が抱える諸問題を反映させ、いかに問題解決を図っていくかを議論し、制限時間内に回答を出し、実際の条文制作まで行うという過程を体験できたことは、今後に繋げることができる財産となったと思う。</p> <p>津山市でもより市民の暮らしが快適なものとなるような実効性の高い条例案を議員が主体となって示していくことができるように、さらに精進していきたい。</p> <p>講師の先生を含め、またしてもネットワークを広げることができたことは幸運だったので、このラッキーを活用していきたい。</p>

(参考様式2)

令和2年 4月 1日

出張報告書

津山市議会議員 三浦 ひらく

出張期間	令和元年 10月 23日 ~ 令和元年 10月 25日
出張先	JIAM (全国市町村国際文化研修所) 滋賀県大津市唐崎 2-13-1
出張内容	令和元年度市町村議会議員研修「地方分権と自治体の行政改革」への参加
応対者	JIAM 施設関係者、講師の先生方
概 要 所 感	<p>参加人数は 60 人ほどで津山市議会議員は私含め 3 名参加。津山市出身で他自治体の議員になられている方や津山市在住経験がある方、視察で津山市にも立ち寄る予定にされている方などおられ、広いようで狭い日本を感じた研修となった。</p> <p>過去 2 回参加させていただいた研修同様に議員同士のネットワークを構築できたこと、より深められたこと（再会した仲間も複数いた）も有意義だったが、何よりも大きなインパクトを受けたのは地方分権についての内閣府の皆さまによる講義である。恥ずかしながらこの日までしっかり理解できていなかった提案募集制度について実例を基に深く学んだ。</p> <p>講義後のワークショップを含め、全ての資料と説明から地方自治の可能性、津山の明るい未来を思い描くことができるほどの衝撃を受け、思わず参事官をはじめメンバー全員と名刺交換させていただき、どうしても津山市に来ていただき、職員の方々を対象に同様の試みを行っていただきたい旨を熱弁、再会を誓った。</p> <p>その他にも広瀬養父市長による国家戦略特区についてのレクチャーなど、行政の興味深い施策に触れられ、刺激になった。</p> <p>津山市にそのまま落とし込むことは難しくとも、知識と経験を無駄にせぬように実際の提案に繋げていくことを改めて決意。</p>

(参考様式2)

令和2年 4月1日

出張報告書

津山市議会議員 三浦 ひらく

出張期間	令和元年 11月 4日 ~ 令和元年 11月 5日
出張先	とっとり・おかやま新橋館、経済産業省 資源エネルギー庁、内閣府 地方分権改革推進室、衆議院議員会館、参議院議員会館
出張内容	津山市政に生かしていくための視察研修 (内閣府 地方分権改革推進室については特にお願いもかねて)
応対者	それぞれ施設責任者等
概 要 所 感	<p>新橋のとっとり・おかやま新橋館を訪問、津山市をはじめ岡山県産、そして鳥取県の様々な特産品の販売の様子、陳列状態や入荷状況、売れ行きなどについて説明を受ける。</p> <p>前日の移住・定住促進婚活イベントはカップルが4組成立するなど、なかなかの盛況であった話も伺った。</p> <p>久しぶりの訪問であったが、一階二階ともに岡山県よりも鳥取県の方が明らかに目に付きやすく、その上県北部特産品の扱いは大きくない印象を受けたのが率直な感想。</p> <p>資源エネルギー庁では、再生可能エネルギーなど環境へ配慮したエネルギー施策の未来へのビジョンと計画を示していただくとともに、原子力発電等に関しても突っ込んだ話を伺った。</p> <p>個人的にはメインの目的であった内閣府訪問では、10月にJIAMで受講した提案募集方式について事例紹介ムービーを拝見するなどしてより詳しい説明を伺い学び、改めて津山市での研修会実施を実現するためをお願いさせていただいた。</p> <p>衆参の議員会館では、あべ俊子衆議院議員と小野田紀美参議院議員と面会し、地域課題解決へ国政からのアプローチをお願い。</p> <p>衆議院では防衛省の安全保障委員会を傍聴し、緊張感のあるやり取りの空気感は正直に言えば市政県政とは別物だと感じた。</p>

(参考様式2)

令和2年 4月1日

出張報告書

津山市議会議員 三浦 ひらく

出張期間	令和元年 11月 15日 ~ 令和元年 11月 16日
出張先	東京三田 NN ホール
出張内容	総務省主催・関係人口創出フォーラムへの参加のため ただメイン目的はその後の名刺交換会でのネットワーク構築
応対者	フォーラムは講演聴講のため特になし 名刺交換は講師全員と全国自治体職員若干名
概 要 所 感	全国ほとんど全ての自治体が直面している少子高齢化・人口減少社会の諸問題を少しでも解決に近づけていくための一つのアプローチとして、総務省肝いりで幾つかの自治体の本腰を入れて進めている関係人口という考え方、その創出ノウハウと事例検証。他自治体間との綱引きに競り勝ち、移住・定住という高いハードルをクリアしてもらいより気楽に、それでいて観光で立ち寄る場合よりも強い思い入れを持って地域に携わる人材を増やすという施策であり…かねてより短期あるいは中期的にはこうしたアプローチによらねば津山が生き残っていく活路は見出せないと考えている私にとって、講演内容も非常に充実したものだ。具体的事例を巧みに織り交ぜながらファシリテーションしてくださったローカルジャーナリスト田中さん、彼女の元同僚である島根県邑南町羽須美振興推進室の森田さんらの話も興味深く、講演終了後にも面白い話が聞けたが、何と云っても徳島県のファン創出のための取り組みが魅力的で、サテライトスクールという二拠点居住の助けとなる既存制度の、いわば援用は衝撃的だった。美波町の参与も務めておられる株式会社あわえの吉田社長とは名刺交換会で交流を深め、資料等を頂戴する約束を交わした。行政職が多く議員が少なかったこともあり、印象を残せた。

(参考様式2)

令和2年 4月1日

出張報告書

津山市議会議員 三浦 ひらく

出張期間	令和2年1月7日～令和2年1月9日
出張先	徳島県上勝町 徳島県美波町
出張内容	葉っぱビジネス、ゼロ・ウェイスト宣言のまちの現実（上勝町） 関係人口創出先進自治体（美波町）の視察
応対者	株式会社いんどり横石社長以下社員の方々、生産者の皆様方 美波町役場政策推進課、議会事務局、株式会社あわえの皆様方
概 要 所 感	<p>葉っぱビジネスの先駆けとして全国的に有名な上勝町。仕掛け人である横石社長率いる株式会社いんどりのスタッフによる案内で生産農家を回り、社長だけでなく当事者の様々な話を伺った。DVDで予習していたことで驚きは少なかったが、高齢者が実に生き生きと楽しく仕事をしている様子は見ていて楽しかった。ブランド価値を守り、生産者のモチベーションを保つ秘訣となっているのが誰が生産者であるのかを瞬時に把握できる仕組み。効率化だけでなく責任感の向上、誇りすら生み出していた。</p> <p>家庭ゴミを45品目に分別、減量とリサイクルへの取り組みからも、ポイント制度の導入などからも明らかなように積極的、自主的にゴミを減らすアクションを起こすような工夫が感じられた。賑やかな過疎の町、美波町からは人口減をある意味では受け入れつつも、挑戦的野心を忘れない誇り高い町という印象を受けた。高い高齢化率にもかかわらず県内トップの数を有すサテライトオフィス…その誘致に役立つだけでなく町民の生活を豊かにしている最大の力は、IT環境整備が進んでいることに他ならない。二拠点居住実現の助けとなるデュアルスクールについては触れた程度だったが、実際のサテライトオフィスや株式会社あわえ訪問で得た刺激は大きく、津山市に還元していかなければならない。</p>